

松井 智子

MATSUI, Tomoko



【共同研究】

- 国際教育センター共同研究「多言語・多文化環境で育つ児童の学習言語の発達と障害—就学前・就学初期にできること、すべきことはなにか」を継続して進めた。本プロジェクトは、グローバル化の進行に伴い我が国でも増えつつある多言語・多文化環境で育つ児童の学習言語の発達と障害について、母語発達に焦点を当てて検討するものである。イメージ教育の研究者、教育関係者、言語発達や発達障害・学習障害を専門とする研究者らが意見交換をし、現状の正確な把握と改善に向けた方略を見出すことを目的とする。
- 自然科学研究機構生理学研究所における磁気共鳴装置共同利用研究「語用論の神経基盤の解明に向けて」を継続して行った。

【科研費などの研究】

- 「多言語多文化児童の認知特性に関する基礎研究—個性を生かす教育を目指して」平成24-27年度 基盤研究 研究代表者 松井智子
海外英語圏を多言語多文化環境として育つ日英バイリンガル児童の発達環境および認知特性に焦点を当てた調査をすることが目的である。26年度はシカゴ日本人学校および補習校で4歳から10歳までの日英バイリンガル児童20名に対して実施した言語発達調査を論文化した他、現地にて保護者向けのワークショップを行った。

【研究業績】

論文

- 松井智子、須藤美緒子 (2014) 日本における言語的マイノリティ幼児の言語と社会性の発達。『コミュニケーション障害学』31 (2) : 90-101.
- 藤野 博・松井智子・東條吉邦・長内博雄 (2014) 学齢期の高機能自閉症スペクトラム障害児における心の理論と語彙理解力。『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ』, 66, 311-318.
- 権藤桂子・稲田素子・松井智子 (2015) 日英2言語環境下で育つ児童の語彙力と文法力に関する一考察。『国際教育評論』12, 1-17

著書

- Tomoko Matsui (2014) Children's understanding of linguistic expressions of certainty and evidentiality. Matthews, D (ed.) , Pragmatic Development: Trends in Language Acquisition Research. John Benjamins.
- 松井智子 (2014) 感情と態度の記号接地—言語を通じた感情と意図の理解と伝達『言語と身体性』(岩波講座 コミュニケーションの認知科学 第1巻) 151-184.

その他の出版物

- 松井智子 (2014) 言葉のウラにある相手の考え方や感情を理解する。『児童心理』12月号 東京：金子書房
- 松井智子 (2015) 語用能力の発達。『発達』141号 18-23 京都：ミネルヴァ書房

講演

- 「言語と社会的知性」招待講演 関西言語学会39回大会 大阪大学 2014年6月15日
- 「多文化児童の言語と社会性の発達」基調講演 第24回日本乳幼児医学・心理学大会 滋賀県立大学 2014年11月15日
- 「自閉症スペクトラム児の言葉と心の発達」武蔵野東教育センターセミナー 2014年10月9日
- 「社会の中で育つ言葉と心」保護者研修会講演 武蔵野東幼稚園 2015年2月13日

学会発表

- Keiko Gondo, Tomoko Matsui, Lisa Kojima, Naotake Tsukidate Longitudinal study on expressive vocabulary acquisition among Japanese children with ASD. The 15th International Clinical Phonetics and Linguistics Association (ICPLA) Conference, Stockholm University, Sweden. 2014年6月11日-13日
- 近藤しをり, 松井智子, 藤野博, 東條吉邦, 長内博雄
高機能自閉症児の語彙学習における話し手の確信度の理解。言語科学会 第16回年次国際大会、文教大学 2014年6月28日
- Tomoko Matsui, Kyoko Sakamoto, Masato Ohba, Midori Ban, Mutsumi Imai. Two-year-olds prefer to learn from the informant who sounds confident. 2014 International Conference on Infant Studies the Maritim

Hotel, Berlin, Germany 2014年7月4日

- Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y. Osanai, H. (2014) . Autistic children's understanding of affective prosody. The 13th International Congress for the Study of Child Language, University of Amsterdam, Netherlands. 2014年7月13日-18日
- 松井智子 声の調子と文脈から 皮肉にこめられた態度を理解する。シンポジウム「言語コミュニケーションの発達と障害」日本心理学会第78回大会 同志社大学 2014年9月12日
- 松井智子 高機能自閉症児のアイロニーの理解：イントネーションは手がかりとなり得るか。ワークショップ「アイロニー研究の新展開」認知科学会31回大会 同志社大学 2014年9月20日
- 中村太戯留, 松井智子, 内海彰. (2014) . 隠喩的表現における面白さの強度と理由の関係の検討. 日本認知科学会第31回大会 同志社大学 2014年9月20日
- 中村太戯留・松井智子・内海彰・山崎末花・牧田快・原田宗子・田邊宏樹・定藤規弘. (2014) . 隠喩的表現における“面白さ”と“見劣り効果”の神経基盤の検討. 第4回社会神経科学研究会「社会認知とコミュニケーション」生理学研究所 2014年10月30日
- Tomoko Matsui, Mutsumi Imai
Autistic children prefer to learn a new word from a confident speaker. Society for Research in Child Development 2015 Biennial Meeting Pennsylvania Convention Center and the Philadelphia Marriott Downtown Hotel Philadelphia, Pennsylvania, U.S.A. 2015年3月19日
- 篠沢薫、権藤桂子、松井智子
前言語期のASD幼児と保育者の相互交渉の特徴。第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月20日
- 近藤しをり, 松井智子, 藤野博, 東條吉邦, 長内博雄.
高機能自閉症児の探し物場面における話し手の確信度の理解. 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 藤野 博・松井智子・東條吉邦・長内博雄
自閉症スペクトラム障害児における誤信念理解と言語的命題化. 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 南島彩乃・藤野 博・松井智子・東條吉邦・長内博雄
心の理論と社会的動機づけ—自分のための嘘と他人のための嘘. 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 狩俣有香・藤野 博・荒井はるか・松井智子・東條吉邦・長内博雄
高機能ASD児におけるフィクショナル・ナラティブと心の理論の関係. 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 長谷川絵里・藤野 博・松井智子・東條吉邦・長内博雄
ASD児の皮肉理解における表情情報の効果. 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 三浦優生、松井智子、藤野博、東條吉邦、長内博雄
自閉症スペクトラム児における感情プロソディの理解 (3) . 第26回日本発達心理学会大会 東京大学 2015年3月21日
- 菅さやか、松井智子、金水敏
音声の抑揚が役割語理解に及ぼす影響の発達の比較. 第26回日本発達心理学会大会東京大学 2015年3月21日

【主な学会活動】

- 日本英語学会 (評議員)
- 日本言語科学会 (運営委員)
- 日本語用論学会
- 日本発達心理学会
- 日本心理学会
- 日本認知科学会
- International Pragmatic Society
- International Association for the Study of Child Language
- Society for Research in Child Development

【教育活動】

- 「人間関係の科学A」「臨床心理演習Ⅱ」東京学芸大学大学院教育学研究 科学校心理専攻
- 「コミュニケーション概論」非常勤講師 慶應義塾大学文学部
- 「思考と言語」「言語と心」非常勤講師 国際基督教大学教養学部
- 「子どもとことば」非常勤講師 白梅学園大学大学院